

専門職向け

LCSA 事例検討会

LCSAによる評価を支援につなげる実践的な事例検討会です。

2026/ **7/18** 土 13:30-15:30

オンライン開催 参加条件あり

助言役 中川 信子先生
言語聴覚士

講師 大伴 潔先生
東京学芸大学 名誉教授

まとめ役 満江 唯先生
新潟医療福祉大学
心理福祉学部 心理健康学科 助教

企画協力：中川信子（そらともプロジェクト）
主催：一般社団法人ことばサポートネット

「専門職向け LCSA事例検討会」

実際にLCSAをアセスメントに使っている方、これからアセスメントに使いたいと考えている方のための実践的な事例検討会です。意見交換参加者の方にご協力いただき、目標の設定や支援プログラムの立案などを議論しながら学びます。

LCSAで評価を行い、「その後」の支援にどう結び付けていけば良いのか、指導の現場で悩まれている先生は多くいらっしゃるのではないかと思います。毎回、温かい雰囲気の中で活発な意見が飛び交い、事例検討会の中で出される様々なプログラム案や教材の具体例は「明日からの指導のヒントになる」と、好評をいただいています。

大伴先生と中川先生のご指導・ご助言の下、みんなで考える学びの時間です。皆で大伴先生のゼミ生になったつもりで勉強できればと思います。

<LCSAについて>

LCスケールは0-6歳の乳幼児の言語コミュニケーション発達を基盤にして作られた検査法です。語彙や文法、文のつながり、コミュニケーションなどの領域について、発達上の長所や課題を知り、支援プログラムの立案に役立てることを目的として作成されました。

LCSAはその学齢版で、LCスケールの内容に加えて、文や文章の聞き取り、丁寧表現の使用、発想の柔軟性、読みなどについても評価します。

言語聴覚士はもとより、学校や発達支援の現場に関わる専門職が、子どものことばの育ちの様子を発達の側面からとらえ、その先の支援につなげるためのアセスメントツールです。

■開催日時:2026年7月18日(土) 13:30~15:30

■チケットの種類

- ①聴講チケット:聴講のみ
- ②意見交換チケット:定員4名

■場所:オンライン

■参加費:5,500円

■ファシリテーター:東京学芸大学 名誉教授 大伴 潔先生

■助言役:言語聴覚士 中川 信子先生

■まとめ役:新潟医療福祉大学 心理福祉学部 心理健康学科 助教 溝江 唯先生

■お申し込み(Peatix):<https://ksn-26-07-18-2.peatix.com>

■お問い合わせ先:info@kotoba-support-net.org

◎今回のモデル事例Eさん(架空):

- ・地域の小学校(通常級)に通う小学2年生の男の子。
- ・家族構成:両親、本児、妹、弟の5人家族。
- ・ことばの遅れ、構音障害、コミュニケーションの難しさがあり、週1日校内の通級指導教室で支援を受けている。
- ・2歳の頃から児童発達支援事業所を利用、現在も放課後等デイサービスで週3日過ごしている。
- ・全検査IQ(FSIQ):85
- ・授業中は立ち歩くことはないが、学習内容の理解が全体的に難しく、ぼんやりして学習に集中できていない。構音障害は改善してきたが、1年時よりも勉強の遅れが目立つようになり、個別面談の際に保護者が担任に相談した。
- ・「情報共有」と「今後の支援プログラムの検討」のため、通院先のクリニックにてLCSA検査を実施した。

※上記事例については、当日までに多少の変更がある場合がございます。ご了承ください。

■対象:

言語聴覚士や、通級指導教室・支援級教員などの専門職で、実際にLCSAをアセスメントに使っている方、これから使いたいと考えている方(参加条件あり)

※参加条件:以下のいずれかの講座を受講済み、もしくは予約済みの方

- 「LCSAを使った学齢期の支援」(2023年10月29日 | そらともプロジェクト) 受講済み
- 「LCSAの実施と指導・支援の実際」(2024年1月27日、7月28日または2025年1月18日、7月27日 | ことばサポートネット) 受講済み
- 「LCSAの実施と指導・支援の実際」(2026年7月18日 | ことばサポートネット) 予約済み

※LCSAの講義内容の共通理解を前提に議論が進みます。ご参加の方々の理解をより深めていただくため、参加資格を設けさせていただきますことをご了承ください。

◎意見交換参加者について:

・意見交換チケットをお申込みの方には、6月以降、順次事例の詳細や検査結果をお送りいたします。情報をもとに、LCSAで評価する各領域について、目標や指導方法の案を、意見交換シートにご記入・ご提出いただきます。

・意見交換シートは7月5日(日)までにご提出をお願いいたします。意見交換シートは、意見交換参加者の方々のご了承をいただいて、聴講参加者の皆様に配布する場合があります。

◎意見交換シートについて:LCSAの評価対象となる5領域(文や文章の聴覚的理解、語彙や定型句の知識、発話表現、柔軟性、リテラシー)について、それぞれの短期目標・理由・教材・指導方法等を記載する様式となっております。この表に沿ってお考えをまとめていただき、ご提出をお願いいたします。

《参考》意見交換シート(一部抜粋)

確定版	名前:※ご記入ください	以下の領域から、指導の対象となる領域の欄に記入してください。すべての領域を埋める必要はありません。複数の領域にまたがる活動の場合は、「その他 ○の特記事項」の欄にその旨をお書きください。	
	長期目標 (複数記載可)		
文や文章の聴覚的理解	短期目標①		※短期目標②があればこの列に追記してください。
	①の理由		
	①の教材		
	①の指導方法		
	その他 ①の特記事項		
語彙や定型句の知識	短期目標①		
	①の理由		
	①の教材		
	①の指導方法		

===

【過去にご参加くださった方からのご感想】

・検討会に先立って、お子さんの情報をいただき、計画立案するところから参加させていただけたことで、担当しているお子さんの支援(小1~4)の反応を思い返しなが、支援をより具体的に考えていくことができました。

私はSTの一人職場が長く、計画立案は毎回、これでいいのだろうか？と思いながら作成し、お子さんの反応を見ながら臨機応変に訓練をしてしまっていました。そのため、目標設定が高すぎたり、低すぎたりしてしまい、とても自信がないところでした。

同じお子さんについて、いろいろな先生がたの見立て、計画立案、具体的な支援方法を丁寧に教えていただけたり、大伴先生と中川先生、高松先生から、貴重なお話もたくさんいただくことができ、理解が深まり、自分に足りない視点をいろいろいただき、染みいり、感謝の気持ちでいっぱいです。この学びを今後の支援につなげていきたいと思います。

・とてもわかりやすく、丁寧に教えていただきました。また事例検討会では、いろいろな支援方法を聞く事ができ、大変勉強になりました。

・一つの事例について、STや教員など色々な立場から複数のアプローチを知ることができてよかったです。自分の知らなかった教材や、気づけなかった視点を与えていただき、指導の引き出しの幅が広がったような気がします。このような研修は初めて体験させていただきましたが、準備段階含め、自分にとって本当に学びの多い研修となりました。また機会があれば、次も意見交換者として参加したいですし、周りの方にもお勧めしたいです。

・具体的な課題や教材をたくさん知ることができてありがたいです。

・同じお子さんについて、いろいろな先生がたの見立て、計画立案、具体的な支援方法を丁寧に教えていただけたり、大伴先生と中川先生、高松先生から、貴重なお話もたくさんいただくことができ、理解が深まり、自分に足りない視点をいろいろいただき、染み入り、感謝のきもちでいっぱいです。この学びを今後の支援につなげていきたいと思います。

・様々な立場の方々が事例検討できたことが大変勉強になりました。それぞれの方が紹介された教材についても、視野を広げる良い機会となりました。また、支援は児童だけでなく、保護者へも向けていくことは、とても重要だと思いました。

・発表の皆さまがアイデア豊富で、参加者の方のお話を伺うのが楽しかったです。一人一人に合わせて工夫を凝らして対応されているのだなあとても勉強になりました。

・私はSTですが、学校の先生方と意見交換ができる機会は貴重だと感じます。

・LCSAから見える子どもの姿、その姿からどう支援を考えるのか、とても勉強になりました。具体的な教材の紹介があったこともよかったです。

・1人の症例を時間をかけて行う方式がとても良かったです。より具体的な子ども象をイメージできたり、それぞれの先生の考え方や情報をたくさんもらえたことがありがたかったです。いろんなアイデアが聞けてよかったです。また、大伴先生のまとめのポイントを聞いて、いろんな情報からしっかりとポイントをまとめることの大事さや、その子の置かれている環境や状況も考えたうえで今後の学習や生活での取り組みをイメージしていくべきだと実感しました。

===

講座のご紹介は以上になります。

ご検討のほど、よろしくお願いいたします。